



# 学習の3段階理論



開倫塾 塾長  
林 明夫

## はじめに

「学習の3段階理論」とは、「学習を『理解』・『定着』・『応用』の3段階に分け、効果の上がる学習方法を具体的に示したもの」です。

- 1 小学校・中学校・高校はもちろん、大学・短期大学・専門学校・専修学校・大学院で学ぶときや、学校を卒業後に社会に出て仕事や社会的活動をするとき、充実した人生を送るときにも役立つ学習方法です。
- 2 開倫塾では、「学力」とは、「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」と考えます。
- 3 開倫塾の塾生である間に、「学習の3段階理論」を活用して、「自分から進んで学ぶ力」「主体的に学ぶ力」をしっかりと身に着けましょう。



「理解」とは、「うんなるほどと、よくわかること、納得すること、腑（ふ）に落ちること」です。

### 1 「授業中」の「理解」の方法とは、

- ① 授業中は、手を机の上に置き、先生の目と口元を見て、熱心に授業を聞くこと。
- ② 先生の指示に従い、積極的に授業に参加すること。
- ③ 大切なことは、すべてノートにメモを取ること。

「復習」とは、「授業で学んだことを、その日のうちに、もう一度やり直すこと」です。

### 2 「授業後」の「復習」での「理解」の方法とは、

- ① 教科書や教材、問題集、授業中に取ったノートなどを、一語一語、もう一度読み直すこと。
- ② 計算や問題は、もう一度解き直すこと。
- ③ 意味のよくわからない語句や内容は、辞書や用語集、教科書、参考書で調べること。調べたことはノートに書き写し、その場で覚えること。
- 「授業前の短い時間」にも、それまでに習ったことを「復習」し、授業に臨みましょう。



## 「ノート整理」 をしよう

- ① 「ノート」は、あとで読みやすいように「ノート整理」を怠らないこと。
- ② 大切な語句や内容には、「マーク（印）」をつけること。定規を用いて線などで囲むこと。
- ③ あとで調べたことは、ノートの余白に書き足すこと。余白がなければ、ポストイットや別の紙に書き足して、ノートに貼り付けること。
- ノートは英語で notebook といいます。いろいろ工夫して、一生使える My Notebook を作り上げましょう。

「予習」とは、「授業の内容を予め自分の力で学習すること」です。

### 3 「予習」での「理解」の方法とは、

- ① 意味のよくわからない語句や内容があったら、「気持ちが悪い」と考え、辞書や用語集、教科書、参考書でよく調べること。調べたことはノートに書き写し、その場で覚えること。
- ② 計算や問題は、自分の力で、「ノート」に解いてみること。
- ③ 「よくわからないところをはっきりさせてから、授業に臨む」ことが、「予習」の目的です。



## おすすめ

- ① 「予習」の段階でも、「定着のための3大練習」(「音読練習」、「書き取り練習」、「計算・問題練習」)に励みましょう。
- ② 「授業直前の短い時間」にも、その日の学習範囲を予習し、授業に臨みましょう。

## 第2段階 定着



「定着」とは、「うんなるほどと、よく『理解』できたことを確実に身に着けること」です。それには、「定着のための3大練習」が効果的です。

- 1 「音読練習」…「スラスラとよく読めるようになるまで、声に出して繰り返し読む練習をすること」。  
●何も見ないでスラスラと言えるまでにする「暗誦(あんしょう)」を目指しましょう。
- 2 「書き取り練習」…「楷書(かいしょ、教科書の書体)で、書き順も含め、正確に書けるようになるまで、繰り返し、書く練習をすること」。  
●暗誦した内容を何も見ないで書けるまでにする「暗記」を目指しましょう。
- 3 「計算・問題練習」…「なぜそのような答えになるのかがよく『理解』できた計算や問題は、見た瞬間に条件反射で正解が出てくるまで、繰り返し同じ計算や問題を解く練習をすること」。  
●条件反射で正解が出るまで、練習しましょう。

## 「定着のための3大練習」は「不可能を可能」にする

## 第3段階 応用



「応用」とは、「理解」「定着」した内容を用いて、

- 「学校の定期試験などのテストで、『よい点数(100点満点)』が取れること」
- 「入学試験や国家試験、資格試験などで、『合格点』が取れること」
- 「社会で活用できること」です。

### 1 学校の定期試験などのテストで、『よい点数(100点満点)』を取る方法とは、

- 1 「定着のための3大練習」をやり抜くこと。
- 2 出題範囲について「スミからスミまで覚える」こと。
- 3 テストの1か月以上前から準備をすること。

### 2 入学試験や国家試験、資格試験などで『合格点』を取る方法とは、

- 1 過去に出題された問題(過去問)を5~10年分、5~6回解くこと。
- 2 間違えた問題は、「間違いノート」を作成すること。
- 3 大切な問題は徹底研究し、「まとめノート」を作成すること。

### 3 「社会で活用する力」を身に着ける方法とは、

- 1 学校で勉強するすべての教科の内容は、上級学校や社会ですべて役立ちます。一生役立ちます。
- 2 ですから、学校で用いた教科書や教材、ノートは、学校を卒業後も絶対に処分しないこと。
- 3 学校の授業や学生時代の勉強を思い出し、社会に出てからも一生かけて、繰り返し学び直すこと。



## 「学習方法」 と同時に 大切なこと

### 1 「自覚」をもって学習すること。

- 特に受験生は「自分は受験生だ」という受験生としての「自覚」をもち、受験勉強に励むこと。

### 2 「読解力」を身に着けること。

- 1 「辞書」を用いて「ことばの数」「語彙(ごい)数」を増やすこと。<ことばは力>です。
- 2 調べた内容は意味調べノートやカードに書き写し、いつも1ページ目、1枚目から読み直し、すべて覚えましょう。
- 3 「新聞」を毎日読み、「自分で考える力」「批判的思考(クリティカルシンキング)能力」を身に着けること。
- 4 興味のある記事は、切り取って「スクラップブック」に貼り付け、意見・感想・コメントを書いて、繰り返し読み直しましょう。
- 5 「読書」を毎日行い、「思慮深さ」「省察力」を身に着けること。
- 6 大切な語句や文章は、「書き抜き読書ノート」に書き抜き、折に触れて1ページ目から読み直しましょう。

### 3 ハードな「長時間自己学習」。

「学習効果」=「本人の自覚」×「読解力」×「学習方法」×「学習時間」

## おわりに

- 1 「学習の3段階理論」を参考に学習方法を工夫すると、短期間でも、必ず一定の成果が出ます。
- 2 しかし、やり通すには、「主体的に学ぶ力」と、かなりハードな「長時間自己学習」が求められます。  
開倫塾で、「学習の3段階理論」を活用して、自分から進んで学ぶ力、「主体的に学ぶ力」をしっかり身に着けましょう。
- 3 「主体的に学ぶ力」が身に着くと、  
①「多様な選択肢のある人生」を歩むことができます。  
②「正常に機能する社会の形成」に貢献することができます。

自分の未来は、自分で切り開く。あきらめたらおしまいです。がんばりましょう。

以上 - 2017年夏 -

開倫塾の教育目標は「自己学習能力の育成」です。